

〇年 〇月 〇日

一般社団法人京都知恵産業創造の森理事長 様

サプライチェーン温室効果ガス排出削減計画書

当社は、原料調達・製造・物流・販売・廃棄等を通じた、サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の削減を下記のとおり計画(以下、サプライチェーン温室効果ガス排出量削減計画という。)し、(法人名 株式会社〇〇)が〇年〇月〇日付けで申請の京-VER 創出促進事業を、下記の計画に位置付ける事業として認めます。

記

以下表の1~7について、例示(赤字)を参考に記入して下さい。

温室効果ガス排出量削減計画	
1	【必須回答】自社の温室効果ガス排出量(〇年度〇トン-CO ₂) 2020年度 5,000 トン-CO ₂
2	【必須回答】自社の温室効果ガス排出量削減目標(〇年度までに〇年度比〇%削減) 2030年度までに 2013年度比 46%削減
3	【必須回答】省エネ促進や再エネ導入等、脱炭素化に資する取引先との対話(自由記述) ・協力会を設け、年に数回、省エネ等に関するセミナーを実施 ・省エネ促進や再エネ導入に向けて、要請やアドバイスをを行っている。
4	【必須回答】Scope3※の温室効果ガス排出量の目標設定状況(自由記述) ・排出量の上位3カテゴリのカテゴリ1(購入した製品・サービス)、4(上流の輸送)、13(下流のリース資産)で2030年に2013年比30%削減
5	TCFD、SBT等の国際認証制度の認定取得状況等(自由記述) TCFDへの賛同(2019)、SBTの認定取得(2020)など、積極的に取り組んでいる。
6	Scope3※の温室効果ガス排出量の算定状況(自由記述) ・環境省等が公表しているScope3の算定方法に従い、主要な取引先の温室効果ガス排出量を算定
7	Scope3※の温室効果ガス排出量削減に係る課題認識(自由記述) ・自社製品に係るカーボンフットプリントの算定 ・自社のサプライチェーンでの脱炭素化に向けた意識向上

※ 本表で記載するScope3やカテゴリの考え方は、環境省及び経産省が定める「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン Ver. 2.4 (2022年3月)」に準拠するものです。

所在地 〇〇〇〇〇〇
 名称(法人名) 〇〇〇〇〇〇
 代表者 役職名
 氏名 〇〇〇〇〇〇
 担当者 役職名
 氏名 〇〇〇〇〇〇
 連絡先 電話番号